

日本語学会会員の皆様

一般財団法人 名古屋大学出版会

オンライン書籍展示

日頃よりご愛顧くださりありがとうございます。

会員の皆様を対象に特別価格で販売いたします。ぜひこの機会にご利用ください。

展示期間：

2020年11月21日（土）～ 2020年11月22日（日）

注文方法：

小会へ直接ご注文ください

メール info@unp.nagoya-u.ac.jp または FAX **052-781-0697**

※詳細は2ページ目の「注文用紙」をご参照ください

※全国の書店、生協書籍部、ネット書店を通じてのご注文は通常価格となります

支払方法：

クレジットカード、郵便払込、銀行振込

※公費・校費・研究費等でのお支払いも可能、必要な書類の作成も承ります

割引：

全品、定価（税込価格）より **20%** 割引（100円未満は切り捨て）

送料：

全国一律 500円（2冊以上または10,000円以上お買い上げの場合は小会負担）

お問い合わせ：

名古屋大学出版会・営業部

TEL: 052-781-5353 FAX: 052-781-0697

メール：info@unp.nagoya-u.ac.jp ウェブサイト (<https://www.unp.or.jp/>)

名古屋大学出版会／日本言語学会オンライン書籍展示 2020 注文用紙 ※は記入必須

ご注文は メール info@unp.nagoya-u.ac.jp または FAX 052-781-0697 まで

お名前※			
フリガナ※			
ご所属※	勤務先、在学学校名、所属学会など		
お届け先※	〒 -		
TEL ※		FAX	
メール	クレジットカード払いを希望される場合は記入必須です <input type="checkbox"/> メールマガジン配信を希望する		
書籍名※			冊
			冊
			冊
	合計 [] 冊
到着希望日時	通常、ご注文から1週間程度で発送します。希望の日付・時間帯があればご記入ください。 <input type="checkbox"/> 最短日 <input type="checkbox"/> [] 月 [] 日 午前・14-16時・16-18時・18-20時・19-21時		
支払方法※	<input type="checkbox"/> クレジットカード 決済方法をメールでご案内いたします <input type="checkbox"/> 郵便払込 <input type="checkbox"/> 銀行振込 振込手数料はお客様のご負担となります <input type="checkbox"/> 公費・校費・研究費等 見積書 [] 部・納品書 [] 部・請求書 [] 部 書類の宛名 []		
連絡事項	例) 送料は別途記載せず書籍代金に含めてほしい。／納品書・請求書の日付は書籍の注文日(○月○日)にしてほしい。etc.		

本紙を使用しない場合は「日本言語学会オンライン書籍展示」と明記してご注文ください

掲載書籍以外も全品 20%で販売いたします。本の情報はウェブサイトをご覧ください (<https://www.unp.or.jp/>)



統語意味論

上山あゆみ著

意味と構造は同時に決まる！ 文の意味とは何か、それはどのように生まれるのか。日本語を例に、統辞構造と意味が一体として産出されるシステムを初めて体系的に記述。テニヲハから否定形や疑問形まで、日常言語と計算可能性をつなぎ、言語研究にブレイクスルーをもたらす画期的著作。

序章 何をめざすのか

序.1 「日本語」とは？／序.2 統語論とは？／序.3 統語論の説明対象／序.4 本書でめざしていること

第1章 統語意味論のあらまし

1.1 コトバという仕組み／1.2 Information Database と Lexicon／1.3 語彙項目から文へ／1.4 意味表示と意味理解／1.5 まとめ：統語意味論の立場

第2章 格助詞

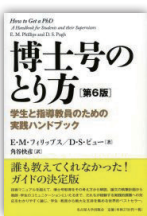
2.1 項となる意味役割と格助詞／2.2 付加詞としての格助詞／2.3 J-Merge：名詞と格助詞の Merge／2.4 格助詞ヲと動詞／2.5 時制要素と「へが」の移動／2.6 音形のない「代名詞」／2.7 本書で未解決のまま残している問題

第3章 使役構文と受動構文

3.1 使役構文 1／3.2 使役構文 2／3.3 受動構文 1／3.4 受動構文 2／3.5 本書で未解決のまま残している問題 [...]

▼構成——序＋10＋終章、付録A「解釈不可能素性と統語操作の一覧」、付録B「Numeration からの派生の全ステップ」

価格 5,400 円＋税
判型 B5判・並製
ページ数 304 頁
刊行年 2015 年
在庫状況 在庫有り
ISBN 978-4-8158-0822-8
Cコード C3080



博士号のとり方 [第6版]

学生と指導教員のための実践ハンドブック

E・M・フィリップス／D・S・ピュー著

誰も教えてくれなかったガイドの決定版。技術マニュアルを超えて、博士号取得をその考え方から解説、論文の執筆計画から教師・学生のコミュニケーションにいたるまで、だれもが経験するプロセスへの対応をわかりやすく論じ、学生・教員から絶大な支持を集める世界的ベストセラー。

第1章 博士課程の学生になるということ

博士課程教育の性質／研究学生になる心理／本書の目的

第2章 博士課程に入る

分野から研究機関を選ぶ／初めての連絡／入学要件／研究費と研究サポート／科学的研究プログラム／通信教育は可能か／パートタイムの学業／研究環境を選ぶ／指導教員を選ぶ／研究学生としての始動／博士課程の俗説と現実／チームワーク

第3章 博士学位の本質

博士号の意味／完全なプロの研究者になる／修士号と博士号の違い／学生のねらい／指導教員のねらい／論文審査委員のねらい／大学と研究評議会のねらい／ミスマッチと問題

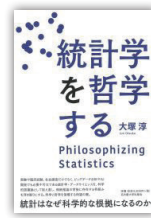
第4章 博士号を取得しない方法

博士号を欲しがらない／博士号の必須要件を過大評価することによる誤解／過小評価による博士号の要件の誤解／博士号の要件を理解する指導教員をもたないこと／指導教員との連絡が途絶えること [...]

▼翻訳——角谷快彦

▼構成——第6版への序文＋13章、【付録】1. 学生のための研究進捗度自己診断、2. 自己評価アンケートおよび博士課程学生の指導にあたっての実務的な課題に関する議論、3. 指導教員候補者への最初のアプローチの仕方

価格 2,700 円＋税
判型 A5判・並製
ページ数 362 頁
刊行年 2018 年
在庫状況 在庫有り
ISBN 978-4-8158-0923-2
Cコード C1037



統計学を哲学する New

大塚 淳著

統計学は実験や臨床試験、社会調査だけでなく、ビッグデータ分析や AI 開発でも不可欠である。ではなぜ統計は科学的な根拠になるのか？ 帰納推論や因果推論の背後に存在する枠組みを浮き彫りにし、科学的認識論としてデータサイエンスを捉え直す。科学と哲学を架橋する待望の書。

序章 統計学を哲学する？

1- 本書のねらい／2- 本書の構成

第1章 現代統計学のパラダイム

1- 記述統計——1-1 統計量／1-2 「思考の経済」としての記述統計／1-3 経験主義、実証主義と帰納の問題／2- 推測統計——2-1 確率モデル／2-2 確率変数と確率分布／2-3 統計モデル／2-4 推測統計の世界観と「確率種」

第2章 ベイズ統計

1- ベイズ統計の意味論／2- ベイズ推定——2-1 仮説の確証と反証／2-2 パラメータ推定／2-3 予測／3- ベイズ統計の哲学的側面——3-1 帰納論理としてのベイズ統計／3-2 内在主義的認識論としてのベイズ統計／3-3 ベイズ主義の認識論的問題／3-4 小括：ベイズ統計の認識論的含意

第3章 古典統計

1- 頻度主義の意味論／2- 検定の考え方——2-1 蓋然的仮説の反証／2-2 仮説検定の考え方／2-3 検定の構成／2-4 サンプルサイズ／3- 古典統計の哲学的側面——3-1 帰納行動としての検定理論 [...]

▼構成——序＋5＋終章

価格 3,200 円＋税
判型 A5判・並製
ページ数 248 頁
刊行年 2020 年
在庫状況 在庫有り
ISBN 978-4-8158-1003-0
Cコード C3010



論理学をつくる

戸田山和久著

論理学って、こんなに面白かったのか！ 出来あいの論理学を天下一式に解説するのではなく、論理学の目的をはっきりさせた上で、それを作り上げていくプロセスを読者と共有することによって、考え方の「なぜ」が納得できるようにした傑作テキスト。初歩の論理学が一人でもマスターできる。

第1部 論理学をはじめ

第1章 What is THIS Thing called Logic?

1.1- 論理とは何か？そして論理学は何をするのか／1.2- 論理の正しさをどこに求めたらよいか

第2章 論理学の人工言語をつくる

2.1- 自然言語から人工言語へ／2.2- 人工言語 L

第3章 人工言語に意味を与える——命題論理のセマンティクス

3.1- 結合子の意味と真理表／3.2- 論理式の真理値分析／3.3- トートロジー／3.4- 「何だ、けっきょく同じことじゃない」を捉える——論理的同値性／3.5- 真理表を理論的に反省する／3.6- 矛盾とは何か／3.7- 論証の正しさとは何か／3.8- 論理的帰結という関係／3.9- 真理関数という考え方／3.10- 日本語の「ならば」と論理学の「→」／3.11- コンパクト性定理／3.12- メタ言語と対象言語をめぐって

第4章 機械もする論理学

4.1- 意味論的タブローの方法／4.2- タブローの信頼性 [...]

▼構成——4部・12章、【付録】A. A little bit of mathematics、B. 練習問題解答、C. ブックガイド

▼採用授業例——「論理学」、「数理論理学」etc. 全国の大学で教科書・参考書として採用されているロングセラーの定番書です。

価格 3,800 円＋税
判型 B5判・並製
ページ数 442 頁
刊行年 2000 年
在庫状況 在庫有り
ISBN 978-4-8158-0390-2
Cコード C3010

掲載書籍以外にも全品 20%で販売いたします。本の情報ウェブサイトをご覧ください (<https://www.unp.or.jp/>)



社会科学の考え方

認識論、リサーチ・デザイン、手法

野村 康著

学際化がすすむ社会諸学のロジックをいかにして身につけるか。日本で初めて認識論から説き起こし、多様な調査研究手法を明晰に整理して、メソドロジの全体像を提示する。社会科学を実践するための要諦をつかみ、創造的研究を生み出すための最良のガイドブック。

第1部 社会科学の認識論

第1章 認識論

1.1- 存在論の2つの立場——基礎づけ主義と反基礎づけ主義 / 1.2- 認識論のパラダイム——実証主義・批判的実在論・解釈主義

第2部 社会科学のリサーチ・デザイン

第2章 事例研究

2.1- 事例研究とは——定義と特性 / 2.2- 単一事例の選び方——3つの基準 / 2.3- 複数事例の選び方——比較の論理 / 2.4- 構成要素——問いと分析単位 / 2.5- 一般化・理論的貢献・過程追跡——事例研究の論点

第3章 実験

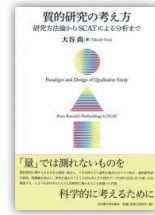
3.1- 実験とは——定義・要点・「無作為割り当て」 / 3.2- 種類——実験室実験・フィールド実験と準実験 / 3.3- 妥当性と問題点——実験における配慮事項 / 3.4- 分析と方法論的位置づけ——アプローチと認識論

第4章 横断的・縦断的研究

4.1- 横断的研究とは——定義・特性・方法論的位置づけ [...]

▼構成——4部・9章、章末には用語解説 (Box)、読書案内も付記されています。

価格 3,600円 + 税
判型 A5判・上製
ページ数 358頁
刊行年 2017年
在庫状況 在庫有り
ISBN 978-4-8158-0876-1
Cコード C3030



質的研究の考え方

研究方法論から SCAT による分析まで
大谷 尚著

「量」では測れないものを科学的に考えるために。質的研究に関するさまざまな疑問・疑念に、ツボを押さえた説明や独自のモデルで答え、量的研究者も納得。認識論を起点に、研究を進めるうえで大切な考え方や質的データ分析手法 SCAT の使い方を解説する最適の入門書。

第1部 質的研究のデザイン、方法、パラダイム

第1章 質的研究とは何か——いくつかの基本概念とその検討

1- 質的研究とは何か / 2- 質的研究「方法」と質的研究「方法論」 / 3- 記録とコード化 / 4- 質的研究における主観と客観 / 5- 質的研究の評価規準としての客観性、信頼性、妥当性 / 6- 「母集団とサンプル」概念の再考 / 7- 質的研究における結果の再現性

第2章 リサーチ・クエスチョンの設定

1- 質的研究のリサーチ・クエスチョン / 2- リサーチ・クエスチョンの評価

第3章 研究デザイン

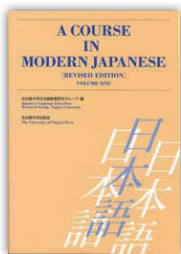
1- 質的研究の研究デザイン / 2- 質的研究のためのガイドライン

第4章 データ採取

1- 質的研究の研究参加者 / 2- 観察やインタビューの中立性の再考——観察の理論的負荷性 / 3- サンプリングとサンプルサイズ / 4- 観察と観察記録 / 5- 個別インタビュー / 6- フォーカス・グループ / 7- 文書研究・文書分析 / 8- 人工物研究・人工物分析 / 9- アートをを用いたデータ採取 [...]

▼構成——2部・13章

価格 3,500円 + 税
判型 菊判・並製
ページ数 416頁
刊行年 2019年
在庫状況 在庫有り
ISBN 978-4-8158-0944-7
Cコード C3036



A Course in Modern Japanese [Revised ed.] Vol. 1

名古屋大学日本語教育研究グループ

アカデミック・ジャパニーズ (学校で使う日本語) の基礎を培うことを目的とし、大学や大学院での活動を主な会話場面とした初級日本語教科書。基礎的文法力と共に、コミュニケーション能力、社会言語学的能力の養成と、音声言語理解力が獲得できるよう編集した好評テキストの改訂新版。

Pronunciation and Writing System

Lesson 1=Dialogue 大学で

Vocabulary List/Notes on Grammar/Notes on Discourse/Drill/Aural Comprehension/Reading Comprehension/Kanji Practice

Lesson 2=Dialogue しょうかい

Vocabulary List/Notes on Grammar/Notes on Discourse/Drill [...以下同]

Lesson 3=Dialogue パーティーで

Lesson 4=Dialogue いろいろな建物

Lesson 5=Dialogue 地下鉄に乗る

Lesson 6=Dialogue 図書館で

Lesson 7=Dialogue 郵便局で

Lesson 8=Dialogue 体の調子

Lesson 9=Dialogue 研究室で

Lesson 10=Dialogue お茶を飲みながら話す

▼執筆——【General Editors】藤原雅憲 / 神田紀子【Authors】巖 逸子/服部 淳/鹿島 央 / 宗林由佳/高橋伸子/高安葉子/椿由紀子 / 坪田雅子/魚住友子/安井澄江/リチャード・ハリソン/ジュディス・プレストン/藤嶋かおる

▼構成——10 Lessons and Appendix

※同シリーズ Vol. 2、CD、中級編 I・II は現在「在庫僅少」となっております。

価格 2,800円 + 税
判型 B5判・並製
ページ数 322頁
刊行年 2002年
在庫状況 在庫有り
ISBN 978-4-8158-0425-1
Cコード C2081



英語化するアジア

トランスナショナルな高等教育モデルとその波及
吉野耕作著

英語支配論をこえて、ポストコロニアルな現場から。中心国によるグローバル支配の道具といった単純化された見方をしりぞけ、マルチエスニックなマレーシアでうみだされた高等教育モデルとその波及を通して、アジアの英語化の生きた姿を、変動する社会と地域の中でつぶさに捉えた力作。

序章 英語化するアジア

——英語化論・トランスナショナルな高等教育・ポスト複合社会

1- 英語化という視座 / 2- 応用言語学における議論 / 3- 英語化するアジアに対する社会的接近——本書のアプローチと概要 / 4- 研究調査方法について

第1章 エスニズムとマルチエスニシティ

——多民族社会マレーシアにおける2つの方向性

1- はじめに / 2- エスニーとしてのマレー人の創造——西洋的概念の導入と現地化の過程 / 3- 植民地主義とマルチエスニシティの制度化——「複合社会」の誕生 / 4- マレー・エスニズムとナショナリズムの展開 / 5- マルチエスニシティと多文化——経済発展とニュー・ミドルクラスの登場 / 6- 2つの方向性の行方 / 7- 結びに代えて——ポスト複合社会への視座

第2章 マレーシアから生まれた高等教育モデル

——トランスナショナルな制度の成立と仕組み

1- はじめに / 2- 新たな高等教育誕生の背景 [...]

▼構成——序+7章、補論「グローバル・メディアとローカルな言語状況——CNN インターナショナルの英語をめぐって」名著『文化ナショナリズムの社会学』で知られる吉野耕作先生の、もう一つの著作です。

価格 4,800円 + 税
判型 A5判・上製
ページ数 240頁
刊行年 2014年
在庫状況 在庫有り
ISBN 978-4-8158-0779-5
Cコード C3036



歴史人名学序説

中世から現在までのイベリア半島を中心に
芝 紘子著

名前に刻まれたヨーロッパ社会の軌跡——。家族・親族の結びつきやアイデンティティのあり方、封建制と家族・ジェンダーの関係、フロンティア社会と文化移転、キリスト教の浸透・教化など、人名という新たなプリズムを通して過去・現在の社会・心性を色鮮やかに浮かび上がらせる。

第1章 「命名革命」の初期現象

1- 「革命」以前の状況 / 2- 初期現象 / 3- イベリア半島北部西半分におけるストックの縮減 / 4- 少数の名への集中——1) 中世盛期西欧におけるキリスト教系名の採用 / 2) 半島北部におけるキリスト教系名の広まり / 3) 「新しい名」の採用・「古い名」の放棄 / 4) 半島北部西半分における少数の際立った名への集中 / 5) 半島北部東半分におけるストックと使用名 / 6) 名の集中における地方の特色 / 7) 父・祖父の名の継承 / 5- 女性の名——地方による相違

第2章 新しい姓名システムの登場

1- 西欧における二要素姓名システムの出現理由 / 2- イベリア半島における補足命名——1) 命名の第二要素の採用 / 2) アラブ命名法の採用——ibn, filius / 3) filius型採用の背景 / 3- 父称の登場と展開——1) 父称の登場と定義 / 2) 父称を形成するさまざまな接尾辞とその起源 / 3) さまざまな接尾辞の父称の推移 / 4) 他国における父称の接尾辞・接頭辞 / 5) 父称の採用における社会的・地理的差異 / 6) 父称に込められたさまざまな意味合い / 7) 父称の形成例 / 8) 主格父称——名使用との両立性 / 9) 父称の「化石化」と家族名の誕生 / 10) 母称 / 4- 地名姓 [...]

▼構成——序+6+終章

価格 5,400円 + 税
判型 A5判・上製
ページ数 308頁
刊行年 2018年
在庫状況 在庫有り
ISBN 978-4-8158-0912-6
Cコード C3022



日本語活字印刷史

鈴木広光著

西洋活字印刷術に内在する論理とせめぎあいのなか、漢字と仮名による多様な書字活動は、どのように活字化されたのか。技術のみならず文字の性質や書記様式・言語生活等に注目し、嵯峨本など古活字版から、近代日本の活字組版まで、グローバルな視野で描きだす力作。

序章 活字の論理——日本語活字印刷史への視角

1- アコスタの世界認識の方法 / 2- 印刷出版による階層化 / 3- REDUCIRの論理 / 4- 木版印刷という選択 / 5- 日本イエズス会版の位置 / 6- 朝鮮の鑄造活字——活字の東と西 / 7- 本書の構成

第1部 古活字版のタイポグラフィ——活字・組版・異版

導論 漢字仮名交り文の古活字版を論じる理由

第1章 嵯峨本『伊勢物語』の活字と組版

1- 資料と分析方法 / 2- 仮想組版の試み / 3- 木活字について / 4- 慶長13年初刊本の異版問題と部分異植字 / 5- 慶長13年再刊本の活字と組版 / 6- 異版の制作方針 / 7- まとめ

第2章 古活字版の仮名書体

1- 仮名を活字に載せるということ / 2- キリシタン版と古活字版の連続活字 / 3- 漢字仮名交り文古活字版の活字規格と組版——その諸相 / 4- 嵯峨本『伊勢物語』のタイポグラフィ / 5- 変容する印刷書体

小括 古活字版と近世木活字版の間 [...]

▼構成——序+3部・6章、第8回「ゲスナー賞『本の本』部門・金賞」(丸善雄松堂株式会社主催)

価格 5,800円 + 税
判型 A5判・上製
ページ数 358頁
刊行年 2015年
在庫状況 在庫有り
ISBN 978-4-8158-0795-5
Cコード C3021



生成論の探究

テキスト・草稿・エクリチュール
松澤和宏著

作品への途上で言葉に生じた数々の〈事件〉——漱石から賢治にいたる日本の近代文学やフーバーをはじめとする西洋の文学・芸術、さらには言語学者ソシュールの草稿を読み解くことを通して、〈書くこと〉とは何かを問い、その深淵に明滅する豊饒な複数性を明るみに出した労作。

第1部 生成論とは何か

第1章 闇のなかの祝祭——なぜ草稿を読むのか

1- 「これがあれを滅ぼすだろう」 / 2- 草稿への誘い / 3- 近代的草稿の誕生 / 4- 作者・本文・草稿 / 5- 闇のなかの祝祭 / 6- 生成論とは何か / 7- テキスト概念をめぐって

第2章 草稿の類型

1- 前=テキストとは / 2- オートグラフとアログラフ / 3- 外的生成・内的生成・自己生成 / 4- 構造的生成と文体的生成 / 5- 即興的な書法と方法的な書法 / 6- 前推敲段階 / 7- 推敲段階 / 8- 前刊行段階 / 9- 編集・刊行段階

第3章 生成論の方法

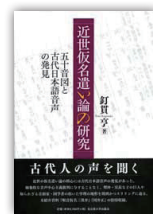
1- 草稿の蒐集と類別 / 2- 分類・判読・転写 / 3- 『感情教育』草稿の靜態的分類と動態的分類 / 4- 生成批評版の作成

第4章 生成論の歴史

1- 本文校訂と近代的テキスト概念 / 2- 草稿の蒐集と保管の始まり [...]

▼構成——3部・15章、第14回「宮沢賢治賞奨励賞」(宮沢賢治学会)受賞作

価格 6,000円 + 税
判型 A5判・上製
ページ数 524頁
刊行年 2003年
在庫状況 在庫有り
ISBN 978-4-8158-0463-3
Cコード C3090



近世仮名遣い論の研究

五十音図と古代日本語音声の発見

釘貫亨著

近世の仮名遣い論の核心には古代日本語音声の発見があった。抽象的な音声中心主義批判とは一線を画す、実証的な学説史の視点から、契沖・宣長などの巨人のみならず、知られざる音韻家や国学者たちの拓いた学理の地形を周到かつスリリングに辿る。『喉音仮名三異弁』『同弁正』の影印収録。

第1章 日本語学説史における「音韻」の問題

1- 何故「音韻」を問題にするか / 2- 古代の「音韻」 / 3- 中世の「音韻」 / 4- 『韻鏡』の輸入と韻鏡注釈の自立 / 5- 世俗的学問としての「音韻学」の成立 / 6- 近世後期の音韻学の展開 / 7- 本居宣長と日本語音韻学の完成

第2章 いろは歌から五十音図への交替——契沖『和字正濫鈔』の意義

1- 「歴史的仮名遣い」への疑問 / 2- 契沖『和字正濫鈔』『漢文序』の意図 / 3- 巻一の理論構成 / 4- 自筆草稿『和字正濫鈔』と『和字正濫通妨抄』に見る契沖の意図 / 5- 『和歌童歌抄』の仮名遣い論 / 6- 榎取魚彦『古言梯』の方法論 / 7- 五十音図と古代音声の自覚へ

第3章 日本語音声の自覚へ——文雄『和字大観鈔』の意義

1- 韻鏡注釈の自立と世俗化 / 2- 仮名遣いの本質規定と日本語音声の自覚

第4章 「喉音三行弁」と近世仮名遣い論の展開

1- いろは歌から五十音図へ——「喉音三行弁」と仮名遣い / 2- 三内説から五音へ——音図解釈の転換 / 3- 「喉音三行弁」の観念の成立と展開 / 4- 本居宣長「おを所属弁」の歴史的必然性 [...]

▼構成——序+9+終章、巻末に資料編『喉音仮名三異弁』『同弁正』東京大学文学部国語研究室蔵(影印)収録

価格 5,700円 + 税
判型 A5判・上製
ページ数 296頁
刊行年 2009年
在庫状況 僅少
ISBN 978-4-8158-0570-8
Cコード C3081